



総合センターだより



かわにし そうごう かわにしりん ぼ かん かわにし じ どうかん
川西市総合センター(川西隣保館・川西児童館)

れいわ ねん(2020ねん)
令和2年(2020年)

11
がつごう
月号

新時代へ。
さあ、かわにし

ばしょ びょうどう びん ばん ぎょうりつびょういん むか
場所:〒666-0032 兵庫県川西市日高町1番2号(協立病院の向い)

TEL:072-758-8398 FAX:072-758-2132

ホームページ: http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shisetsu/1002909/sogo_list/index.html

女性の人権問題を考えましょう

だんじょ ひと びょうどう じんけん せいべつ そんちよう にっぽんこくけんぽう
男女は、人として平等であり、その人権は性別にかかわらず尊重しなければなりません。「日本国憲法」
では、法の下での平等について規定し、政治的、経済的又は社会的関係における性差別を禁止するとともに、
家族関係における男女平等についての明文規定がなされています。

しょうわ 54ねん(1979ねん)に国連において採択され、しょうわ 60ねん(1985ねん)に批准した「女子に対するあ
らゆる形態の差別の撤廃に関する条約」(女子差別撤廃条約)では、女性に対する差別が依然として存在
していることを指摘したうえで、男女の固定的な性別役割分担の是正や男女がともに育児に責任を負うこと
などを求めています。

ほんし しょうわ 62ねん(1987ねん)に県内初の「婦人センター」(現:男女共同参画センター)を開
設し、平成5年(1993年)には「川西市女性プラン(第1次)」、そして平成30年(2018年)に「第3次
川西市男女共同参画プラン(改定版)」を策定するなど、男女平等をめざした施策を推進しています。

平成28年(2016年)に本市が実施した「男女共同参画に関する意識調査」では、「子どもができて
も、ずっと職業を続ける方がよい」は、女性40.5%、男性33.9%となっていました。また同年に実施され
た内閣府世論調査では女性55.3%、男性52.9%と男女ともに5割台を占めています。この結果から本市
では、子育ては女性がするという意識が高いようです。

性別による固定的な性別役割分担意識が、依然として残っており、それが社会や家庭
生活に反映し、結果として女性の社会参画を妨げているのではないのでしょうか。

女性も男性も一人の自立した人間として尊重される男女平等社会を推進するために
は、これらの意識を解消していくことが必要です。日常生活の中で当然と思っていることへの固定化された
意識に気づき、その視点からさまざまな慣習を積極的に見直していくことが求められます。



総合センターの相談事業

せいかつじんけん そうだん まいしゅう げつ きんようび ごぜん じ ごご じ しゅくじつ きゅうかん
生活人権相談 毎週 月~金曜日 午前9時~午後5時 (祝日は休館)

ほけん そうだん し ほけん きょうりょくじぎょう
保健相談(市保健センター協力事業)

まいつき だい もくようび ごご じ ぶん じ
毎月 第1木曜日 午後1時30分~3時 11月5日中止 12月3日実施

ほけん そうだん こんねん ど ようび へんこう
保健相談は今年度から曜日が変更になりました!

せくまい そうだん がくしゅうかい せいてきしょうすうしゃ せいどういつせいしょうがい どうせいあい ひと
セクマイ相談・学習会 セクシュアル・マイノリティ(性的少数者、性同一性障害、同性愛の人
たちなど)の人権相談・学習会です。

まいつき だい もくようび ごご じ ぶん じ
毎月 第4木曜日 午後1時30分~4時 11月26日 12月24日

どなたでも
相談可能です